

# Asahi

ASAHI University News Letter

vol.122

July 2019

発行日/隔月1日  
編集・発行/朝日大学 総務部

## 「慶夢忌」を開催 創立者宮田慶三郎先生を偲び



穂積キャンパス中庭で学生・教職員が集合

本大学創立者宮田慶三郎先生の命日である5月22日にあたり、先生のご功績や優しいお人柄を偲ぶ「慶夢忌」が開催されました。

朝日大学では、創立者宮田慶三郎先生の遺志をついで、これからも教育・研究・医療の質の向上を目指し、地域社会の方々から「信頼される大学づくり」に邁進してまいります。

## 創立者宮田慶三郎先生を偲び「慶夢忌」が開催される

朝日大学の創立者宮田慶三郎先生の命日(5月22日)にあたり、穂積キャンパス中庭にある宮田慶三郎先生銅像前にて、先生のご功績や優しいお人柄を偲ぶとともに、先生が残されたお言葉を心に刻み、建学の精神を再確認する機会として、「慶夢忌」が開催されました。



宮田淳理事長が挨拶

宮田淳理事長、大友克之学長をはじめ数多くの教職員や学生が黙祷と献花、全員で宮田慶三郎先生が残された詩「学のはじめに」を朗読し、最後に、先生の銅像を囲む形で集合写真が撮影されました。



献花を行う代表学生

宮田慶三郎先生が亡くなられてから、満22年が経ち、慶夢忌は、20年を迎えた2017年度から開催されています。

### 学のはじめに

わが建学の精神は  
人類普遍の人間の知性に富む  
心豊かな青年の育成です  
その終局のオメガポイントは  
建学の精神を基盤においた  
その枠組みのなかにおいて  
人間が人間を創り出す  
心豊かな未来予測の学問です

宮田 慶三郎



全員で宮田慶三郎先生の詩を朗読

## 吹奏楽部始動 “朝日大学しかできない演奏を”

### 13番目のクラブ設立

2019年4月に、本大学体育会に13番目のクラブとして「吹奏楽部」がスタートしました。

朝日大学吹奏楽部でしか演奏できない曲づくりを目指し、全日本吹奏楽コンクールや全日本アンサンブルコンテストでの上位進出を見据え、実績を重ねながら朝日大学吹奏楽部の名を全国に高めていくことを部員一同、誓っています。



### 監督 和田隆明

岐阜県立岐阜商業高等学校教諭として同校吹奏楽部を26年間指導。マーチングバンド全国大会高等学校の部(中編成)金賞、アメリカ・カリフォルニア州パサデナで開催される「ローズパレード」に出場するなど、数々の実績を残している。



2017年、国内外で活躍する吹奏楽部を長年指導してきたことが評価され、中日教育賞を受賞。

【部長】板谷 雄二(経営学部経営学科 教授)

【副部長】宝田 直樹(事務局) 【コーチ】渡邊 明奈(事務局)

### 新入部員募集中

高校時代に吹奏楽部で活動した経験がある方を募集しています。



日々練習が行われる部室の様子

### 対象者

法学部・経営学部  
保健医療学部/看護学科、健康スポーツ科学科

## 2020年度入試日程決定

入試制度改革・高大接続改革の推進に伴い、学力の三要素などを評価するための信長入試(AO入試)をはじめ、多彩な選抜方法の入試を実施します。

ネット出願	名称	期	日程	募集人員					試験日
				法	経	看	健	歯	
A O	信長(AO)	I	一次	4	7	2	5	10	書類審査 10月6日(日)
			二次						
	指定校(看・歯) 指定校(法・経・健)	II	一次	2	2	1	2	2	書類審査 12月7日(土)
			二次						
推 薦	一般(看・歯) 一般(法・経・健)	I		22	30	26	15	31	11月2日(土) 11月3日(日)
			II						11月2日(土) 11月3日(日) 12月7日(土)
	スポーツ推薦入試 吹奏楽推薦入試 会計推薦入試 ※1期B日程は スポーツ推薦のみ	I	A						11月3日(日)
			B						11月4日(月)
II		16	19			43	12月7日(土)		
III							1月25日(土)		
一 般	一般	I	A	15	18	32	30	55	1月23日(木)
			B						1月24日(金)
			C						1月25日(土)
	II	3	3	2	7	8	2月20日(木)		
	III	2	3	2	5	4	3月14日(土)		
	一 般	一般入試 センタープラス方式	I		3	4	3	2	2
II				2	2	2	2	2	2月20日(木)
III				2	2	1	2	2	3月14日(土)
大学入試センター 試験利用		I		5	5	5	3	8	1月23日(木)
			II	2	3	2	2	2	2月20日(木)
			III	2	2	2	2	2	3月14日(土)
募集人員 合計				80	100	80	120	128	

法…法学部法学科 経…経営学部経営学科 看…保健医療学部看護学科  
健…保健医療学部健康スポーツ学科 歯…歯学部歯学科

## OPEN CAMPUS 2019!

歯学部

7月25日(木)・8月25日(日) 10:00~15:00

法学部・経営学部・保健医療学部

7月28日(日)・8月18日(日) 13:00~16:00

## エコキャンパスプロジェクト「Cool Biz」

朝日大学では2009年度から大友克之学長のもと、建学の精神に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト(地球温暖化防止策)」を展開しています。

8年前の東日本大震災をきっかけに、全国規模での省エネルギー対策が求められていることから、2019年度エコキャンパスプロジェクト「省エネルギー対策実施項目」を策定し、教職員・学生が一丸となり省エネルギー対策に取り組んでいます。

## 北京外国語大学教員を迎える

本大学と学術交流協定を結んでいる北京外国語大学の于日平先生を経営学部経営学科教授として迎えることとなりました。

于先生は、長年にわたり、日本語の言語研究、日本語教育に関する研究に携わり、北京外国語大学日本語学部学部長、教育部大学外国語教学指導委員会日本語部副主任を勤められ、今後も、日本語に関する教育及び研究に取り組まれます。

本大学では、1995年より中国語・中国文化教育のため、北京外国語大学から経営学部教員を受入れており、今後も、国際未来社会に通じる人材の育成のため、人的交流を続けていきます。



熱い握手を交わす大友学長と于先生(右)

## 春の叙勲を受章

### 「旭日中綬章」受章

令和元年(2019年)春の叙勲において、本大学及び姉妹校の明海大学の名誉博士であるヘンリー・H・タケイ先生が、「旭日中綬章」を受章されました。

歯周病分野における日本・アメリカ合衆国間の学術交流の促進および日本の歯周療法学の発展に寄与した功績が認められ、受章となりました。



ヘンリー・H・タケイ先生

### 「旭日双光章」受章

本大学歯学部1期生の屋宜優先生が、「旭日双光章」を受章されました。

長年にわたり沖縄県歯科医師会保険担当理事および社会保険診療報酬支払基金沖縄支部の審査委員を務められ、同県における歯科医療の充実・発展に寄与した功績が認められ、受章となりました。



屋宜優先生

## 「医療経営士養成プログラム」を開講

### 地域社会連携講座

朝日大学地域社会連携センターでは、大垣共立銀行医業経営サポートデスクの協力のもと、朝日大学病院（岐阜市橋本町）を会場とし2019年度朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」を開講しました。

本講座は、2005年3月に本大学と大垣共立銀行との間で締結した産学連携協定に基づく連携事業の一環として、2018年度から医療経営に関する知識、実践的な技能を体系的に学修できる社会人向けプログラムであり、医療現場を経営の視点に立って支えることのできる人材を育成し、地域貢献に資することを目的としています。

本年度の受講者数は30名を数え、開講式では、大友克之学長から「日進月歩の医療分野で働く者として常に視野を広げて考える医療経営士を目指していただきたい」との挨拶に続き、大垣共立銀行境敏幸専務取締役（現取締役頭取）から、受講生に向けて激励のお言葉を賜りました。開講式に引き続き、第1回の講義において、大垣共立銀行本店の白川陽三調査役を講師として「医療制度と医療経済」と題した授業が開講され、1年間にわたるプログラムをスタートしました。



受講生に向けて大垣共立銀行 境敏幸専務取締役（現取締役頭取）から激励のお言葉

## FD研修会を開催

2019年度「第1回FD研修会」が、穂積キャンパス5号館講義室で開催され、教職員ならびに朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」受講者ら約130名が参加。真剣なまなざしで研修に取り組みました。

### 医療経営の観点から考える教育手法

今回の研修会では、兵庫県立大学大学院経営研究科特命教授・名誉教授で朝日大学客員教授の小山秀夫先生を講師にお招きし、「医療経営とその教育手法」をテーマに、医療費の抑制、医療の質、経営管理など多くの課題を抱えて



小山先生が医療、経営、教育手法を解説

いる中、病院機能を発揮するための組織力育成とその手法について、目的を明確化することが重要であることや、スタッフ育成の在り方、社会人の働きながら学ぶ心構えについて等が熱く語られ、普段聞くことのできない貴重なご講話をいただきました。

## 「危険予測トレーニング講習会」を開催

「危険予測トレーニング講習会 in 朝日大学～高橋尚子一日交通部長視察～」と題し、岐阜県警の一日交通部長を委嘱されたシドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんを迎え、交通安全に関する講習会が開催されました。

学生等約190人が参加した講習会では、同県警の担当官から、映像シミュレーターを通じて、車を運転した際の道路上での危険を事前に予測し、事故を未然に防ぐためのポイントを学びました。



交通ルールについて呼び掛ける高橋尚子さん

講習に続き、高橋尚子さんから、「若い運転者の事故が多く、思い込みなどが事故に繋がっています。自らの夢を絶ったり、誰かの命を奪ったりしないようにしっかりと交通ルールを守り、楽しい学生生活を送ってください」と学生等と呼びかけていました。

また、本大学では、全国交通安全運動期間（5月11日～20日）に合わせ、正門前や南門前の横断歩道にて、学生部による交通安全運動を実施し、学生等に対して交通ルール・マナーの啓発に努めております。

## 「健康相談会」を開催

### 健康管理に意識を

朝日大学病院（岐阜市橋本町）では、看護の日（5月12日）に合わせて、「看護の心を、みんなのところに」をテーマに、健康相談会をわくわく広場（岐阜市日ノ出町）と同病院にて開催しました。

会場には、350名を超える人々が訪れ、看護師や管理栄養士による体成分測定、健康相談、脳卒中予防、ハンドマッサージ、AED体験、手洗いチェック、認知症予防等についての指導を行いました。

管理栄養士から食生活についての指導を受けた人からは、「中性脂肪が高いので、気をつけたい」や、認知症の予防を受けた人からは「認知症の家族がいるため、話が聞けて良かった」など、生活の参考にされる声が多く寄せられました。

本相談会は、病気予防のため、健康管理の見直しに役立ててもらおうと20年程前から開催され、院外活動は今年で5回目となりました。高齢化が進む中、病気になる前に健康に気を付け、少しでも意識してくれる方が増えてもらえるよう今後も、活動を続けていきます。



医療職員から健康指導が行われる

## 学術・研究活動が評価される

### 日本歯科理工学会「学会賞」受賞

第73回日本歯科理工学会春期学術講演会において、堀田正人教授が、日本歯科理工学会「学会賞」を受賞しました。堀田教授は当学会の代議員、理事を歴任。同賞は本学会で最も荣誉ある賞です。

今回の受賞は、本学会の学問領域における学術研究・教育活動並びに学会活動に特に顕著な貢献をした功績が称えられたもので、総会で承認され、同学会の今里聡理事長から「学会賞」が授与されました。



堀田先生が「学会賞」を受賞

### 日本歯科理工学会「株式会社ジーシー賞」受賞

歯学部(歯科理工学分野)奥山克史准教授が発表した「核反応を利用したフッ化物含有接着材からの歯質内フッ素分布の測定」が、日本歯科理工学会「株式会社ジーシー賞」を受賞しました。

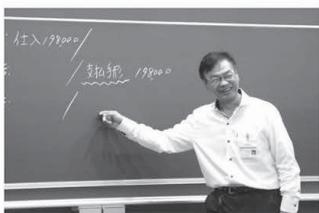
今回の受賞は、大気マイクロPIXE/PIGE法という核反応を利用した分析法で、歯質内のフッ素やカルシウム、その他の元素分布を簡便に、試料を破壊することなく測定できることを示したことが高く評価されたものです。

本賞は今年度から設けられたもので、優秀な研究発表を表彰し、賛助会員の商品開発の大きな力となることを期待しての受賞となりました。



奥山先生が「株式会社ジーシー賞」を受賞

## 中学生財務塾の成果



服部哲明教職課程センター長が中学生を指導

2018年春からスタートした「第三期中学生財務塾」の塾生2名(瑞穂市内の中学校に在学)が、本年1月末に実施された全国商業高等学校協会主催の「第87回簿記実務検定試験3級」にみごと合格しました。

財務塾での毎週夜7時から8時までの授業を35回受講した結果、合格できたもので、同試験は主に商業科の高校2年生が多く取得する資格で、合格には専門的な財務知識が必要となる資格です。

## むし歯予防のポスター展

### 「歯と口の健康週間」イベント開催

朝日大学病院及び医科歯科医療センターでは、「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」に合わせ歯と口の健康を呼びかける活動を実施しています。

穂積キャンパス内の医科歯科医療センターでは、瑞穂市内の小中学校7校からポスターを募集し、恒例となっている「歯と口の健康を呼びかけるポスター展」を開催しました。

### むし歯予防のメッセージ

小学生の描いたポスターには、口を大きく開け健康的な歯がそろった絵や、「毎日歯をみがこう」と虫歯予防などを呼びかける



メッセージが添えられた絵など、カラフルな色彩に児童の感性豊かな表現方法がちりばめられていました。

## 歯科衛生士の職業体験

SKE48のメンバーの北野瑠華さん、井田玲音名さん、高畑結希さんにPDI岐阜歯科診療所(岐阜市都通)において歯科衛生士の職業体験をしていただきました。

今回の体験に参加したメンバーの皆さんは、現場で働いている歯科衛生士から歯科予防処置や器具の説明を聞きながら、歯垢・着色などを取り除くお口のクリーニングと模型を使った歯の型どりを熱心に取り組み、歯科衛生士という職業について理解を深めていただきました。

今回の職業体験は、岐阜県歯科医師会が、職業体験を通して、歯科衛生士の仕事を多くの人に知ってもらうため企画したもので、収録された内容は、岐阜放送(ぎふチャン)「Station!」内の「SKE48の岐阜県だって地元です!」にて放送されました。

## シンポジウム「これからの大学に求められる使命とは」に参加

じゅうろくプラザホール(岐阜市橋本町)でシンポジウム「これからの大学に求められる使命とは」(主催:岐阜県医師会/岐阜大学を発展させる会、NPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構)が開催されました。

小川秀興順天堂大学理事長による基調講演「過去・現在を捉え、新しさを招く」が行われ、パネルディスカッションでは、「これからの大学に求められる使命とは」と題し、小倉真治岐阜大学教授、稲垣隆司岐阜薬科大学学長、小川秀興順天堂大学理事長、森脇久隆岐阜大学学長、本大学から大友克之学長が登場し、少子高齢化時代の



大学の在り方についての  
パネルディスカッションの様子

大学の在り方についてディスカッションがなされました。

県内外の大学や病院の関係者ら約600人が参加。今後の大学と地域との連携等について、深く関心を寄せていました。

## 日中大学フェア&フォーラム in CHINA 2019に参加

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) と中国科学技術部国家外国専門家局との共催で「第15回日中大学フェア&フォーラム in CHINA 2019」が四川省成都市(中国)で開催され、大友克之学長、森下伊三男副学長、王敏客員准教授らが参加しました。

本イベントは、日中間の大学が「大学交流」「留学促進」「産学連携」について、相互理解を促進するための学術交流イベントで、日本、中国双方から40を超える大学など高等教育機関から学長らが参加しました。

開催期間中、「日中大学長円卓会議」では、大友学長が「産学連携のベストプラクティス」をテーマにプレゼンテーションを行いました。

また、大学の魅力を発信する「日中大学フェア」が開催され、日本からは国立大学を中心に35大学が出展。本大学ブースには、約30校の中国の大学等関係者が訪れ、本大学の魅力について説明を受けました。

参加者は、日中間の科学技術分野での交流とその促進、両国間の大学の活躍に大いに期待を寄せていました。

なお本大学は、JSTが実施する「さくらサイエンスプラン(日本・アジア青少年サイエンス交流事業)」に4年連続で採択されています。



日中大学フェアの会場の様子



本大学のブースにて

## 留学生歓迎パーティー

### 海外から留学生を迎える

留学生別科日本語研修課程(4月入学生)の歓迎パーティーが6号館食堂で開催されました。パーティーでは、大友克之学長、横山博信別科長をはじめとした教職員が新入生たちをあたたく迎え、乾杯の発声後には皆にこやかな表情で楽しく歓談していました。

新入生40名(ベトナム、パキスタンなど7ヶ国)は、これからの1年間、学部・大学院への進学を目指して、日本語や日本文化を中心に学修します。



新入生が日本語で学歌を唱和

## 南アフリカ・日本大学フォーラムに参加



発表を行う勝又先生

在南アフリカ共和国日本大使館及び日本・アフリカ大学連携ネットワーク等が運営を行う「第4回南アフリカ・日本大学フォーラム」がプレトリア大学(南ア)で開催され、歯学部(歯科補綴学分野)藤原周教授、歯学部(歯科放射線学分野)勝又明敏教授が参加しました。

「The human being in the 21st century in the context of global changes」を統一テーマに、環境、天然資源から医療まで様々な学問領域の発表が行われ、勝又教授は、「人工知能を用いた歯科画像診断の展開」と題する発表を行いました。

開催期間中に、大学間交流および共同研究の枠組み、具体的な交流プログラムに関する情報交換、協議も行われました。

本フォーラムは、日本と南アフリカの大学・研究者間との学術交流の促進とともに、共同研究をはじめとする具体的な学術交流のマッチングを目指すことを目的として開催され、参加者は、今後の南アフリカと日本の大学との交流発展について深く関心を寄せていました。

また、フォーラム開催前には、日本留学フェアが開かれ、本大学も出展。藤原教授による大学紹介プレゼンテーションが行われ、留学を希望する多くの高校生、大学生がブースを訪れました。

### さらなる交流を深めに

大友克之学長、坂上宏理事(明海大学教授)らは、本大学と学術交流協定(2015年3月締結)を結んでいるウェスタンケープ大学(南ア)とのより一層の



大友学長とPretours学長(右)

関係強化を目指して、Pretours学長を表敬訪問しました。

同大学において期間中、坂上理事は薬理学分野で、勝又教授は放射線学分野で講義を行い、出席した教員、大学院生らは日本の最先端科学技術に関心を寄せていました。

また、元南アフリカ代表のラグビープレイヤー(同大学ラグビー部コーチ)であるチェスター・ウィリアムズ氏の案内で共にラグビー場も視察。その後、地域看護学部へ移動し、同学部長らと協議。また、施設見学を行いました。

## 「沖縄県人会」開催

沖縄県人会が、新たに入会した新入生を迎え、沖縄県出身学生や教職員ら約100名が出席し、穂積キャンパス6号館食堂で開催されました。



同会では、はじめに都尾元 沖縄県人が集う

宣学生部長から、歓迎の言葉と県人会の趣旨や今後の活動方針などの説明がありました。その後、田村康夫副学長から乾杯の発声がされ、新入生たち一人ひとりが沖縄の方言を交え自己紹介をするなど、終始なごやかな雰囲気の中で参加者同士の親睦を深めていました。

## めざせ東京オリンピック 強化指定チーム決定!!

岐阜県清流の国推進部から、体育会の7競技団体が「2019年度強化指定クラブ」として認定されました。

2005年度から始まった強化指定制度により、ぎふ清流国体では、みごと実を結び「天皇杯・皇后杯」を獲得しました。県では、2020年東京オリンピックや国民体育大会に向け選



手強化をめざすと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを輩出するため、強化指定制度が継続実施されています。

強化指定クラブ	対象
ホッケー部	成年男子
ハンドボール部	成年男子
自転車競技部	成年男子
卓球部	成年男子・女子
相撲部	成年男子
フェンシング部	成年男子・女子
ラグビーフットボール部	成年男子

## テニス 国際大会の運営に参画

国内有数の国際大会として位置づけられ、今回で30回目となる「カンガルー杯国際女子オープンテニス2019」が岐阜メモリアルセンター長良川テニスプラザ(岐阜市長良福光)で開催されました。

今大会では、体育会と歯学部硬式庭球部員らがスタッフとして大会運営に参画しました。

ボーラーとしての部員たちの活躍は、国際テニス連盟から3年連続「Excellent」の最高評価を受け、質の高い国際大会運営の一助となりました。



ボーラーとして活躍した硬式庭球部部員たち

## 剣道 東海女子学生選手権大会優勝

体育会剣道部は、OKBぎふ清流アリーナ(岐阜市藪田南)で行われた「第51回東海女子学生剣道選手権大会」において、決勝戦で藤原果歩選手(健スポ2年)が小池真尋選手(健スポ2年)に勝利を収め、見事優勝しました。

また、「第66回東海学生剣道選手権大会」において、昨年に続き連覇を狙う林拓郎選手(健スポ2年)でしたが、健闘したものの3位となりました。

男子5名、女子3名の計8名が全国大会に出場予定しており、今後の活躍が期待されます。

## フェンシング

### 世界ジュニア・カデ選手権銀メダル獲得!



銀メダルを獲得した辻選手(右から2番目)

体育会フェンシング部の辻すみれ選手(法2年)が、ドルン(ポーランド)で開催された2019年世界ジュニア・カデフェンシング選手権大会(ジュニア女子フルーレ団体戦)において、見事銀メダルに輝きました。

準々決勝では世界ランク2位のアメリカと対戦し、最大11点のビハインドを逆転し43-39で勝利、続く準決勝では、フランスに44-32で快勝、決勝では、ロシアに32-39で惜敗するも、同種目では日本勢初となる銀メダル獲得の快挙を成し遂げました。

日本の準優勝に大きく貢献した辻選手の、今後益々の活躍が期待されます。

### 男子エペ全勝

体育会フェンシング部は、滋賀県武道館で開催された「第69回関西学生リーグ戦(男女エペ団体)」において、男子が優勝を勝ち取り、女子が3位の成績を収めました。男



優勝したフェンシング部員

女共にフルーレ、サーブルの団体も制しており、男子は2年ぶり、女子は2年連続の総合優勝となりました。

## 体育会総会開催

### 朝日大学の名を世界へ

本大学体育館で、学生や指導者ら約800名が集い、体育会総会が開催されました。



体育会総会で挨拶をする大友学長

2002年に10種目でスタートした体育会は、本年4月に吹奏楽部が加わり13種目へと成長するとともに、数多くの全日本チャンピオンや公認会計士を輩出するなど国内外でめざましい活躍を遂げています。

総会では、大友克之学長の挨拶に続いて、山本英弘体育会長から、一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)へ加入したことの報告があり、「体育会のモットーである文武両道を旨とし、これまでの輝かしい伝統を引き継ぐと共に、より発展させ朝日大学体育会の名を高めていこう」と熱く語りました。



研修会の講師を務める山本体育会長

また、総会終了後5号館講義室において、指導者研修会が開催され、各部指導者56名が研修に参加し、山本英弘体育会長から体育会運営の知識を深める研修会が実施されました。

# NEWS

## 2018年度 事業報告及び決算

2018年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が5月23日(木)開催の理事会ならびに評議員会において全会一致で承認されました。

2018年度事業報告及び決算は以下のとおりです。

### 事業報告

#### 1 優秀な学生の受入れ(2019年度入学生に係る募集計画)

広く優秀な学生の受入れを図るため、アドミッションポリシーにより、求める学生像、入学前に修得しておくべき水準を具体的に定め、受験生や保護者に明示するとともに、本学の教育・研究活動の質の保証と向上への取組や魅力を効果的な広報活動を通じてアピールし、朝日大学ブランドの向上を図りました。その結果、全学部で募集人員を充足することができました。

#### 2 教育・研究活動の質の保証と向上

効果的な教育を行うためICTの積極的活用による教育方法の改善を図るとともに、カリキュラムポリシーに沿った教育課程の編成、ディプロマポリシーで求める学力を保証する卒業認定の厳格化などの徹底を図りました。経営学部では、公認会計士等の資格取得希望者への支援に努めた結果、平成30年公認会計士試験(論文式)において、12名が合格(5年連続で現役学生が合格、5年間で延べ33名の合格者を輩出)しました。歯学部では、参加型臨床実習の推進により臨床力の強化を図り、海外協定校との相互交流の深化やCEプログラムと連携した大学院教育の充実により、総合的な歯科医師としての資質の向上を図りました。

#### 3 地域社会、ステークホルダー等への貢献

瑞穂市をはじめ、岐阜市や美濃加茂市等の近隣地域における公開講座の開催や、高校への出張講座、英語弁論大会、法教育に関するシンポジウムやジュニアロースクールの開催等により、地域住民への本学が有する「知」の提供や、地域活性化のための緊密な連携を図りました。

#### 4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

学生に国際感覚を身に付けさせるため、歯学部では、海外提携大学との間で、学生の短期海外研修派遣と受入れによる相互交流を実施しました。法学部、経営学部においては、UCLAでの語学研修、ベトナム・ホーチミン、タイ・バンコクでの短期海外研修を実施しました。保健医療学部看護学科では、アメリカ・コロラド州デンバーでの短期海外研修に10名が参加しました。また、学術研究の促進及び資質の向上を目的として、教育職員8名を海外の大学・研究所等に派遣しました。

#### 5 学生支援対策

学業奨励奨学金やスポーツ奨励奨学金による経済的支援、スクールバスの運行や三医療機関における診療費補助等の生活支援、留学生への住居支援などを継続して行いました。また、「学生相談室」に専門員を置き、学生の「心」のケアにも努めました。就職支援では、協力企業を対象とした「講演と懇親の会」や「就職セミナー」の開催、インターンシップの拡充、就職指導を実施した結果、2018年度の文系学部学生の就職率は98.3%と高い数字を維持することができました。

#### 6 社会人の学び直し支援

歯科医師の生涯研修として、歯科医療で世界を牽引するUCLA歯学部とのジョイントコースの開催や歯科総合育成コースの一層の充実を図り、現役歯科医師の要請に応えた実践的なりカレント教育を行いました。地域住民の生涯学習として、グローバルな職業人を養成するための実践ビジネス英会話プログラムや、医療機関スタッフを対象に、医療業界での経営に係る知識、技能を体系的に修得する医療経営士養成プログラム(文部科学省の職業実践力育成プログラムに認定)などを開講しました。

#### 7 施設・設備の充実

計画的に施設・設備の改修や最新医療機器の導入などを行い教育研究機能の充実を図りました。2018年度は標本作製システムの導入のほか、ホッケー場の東京五輪仕様ウォーターベース人工芝への張替、野球場の内野人工芝張替などのリニューアル工事を実施しました。

#### 8 法人運営の基盤強化

法人運営の基盤の強化を図るため学生募集に全力を挙げるとともに、安定的な医療収入の確保に努め、一方で経費の節減を図るなど、バランスのとれた適正な収支の維持に努めました。また、科学研究費助成事業、受託研究費、研究費助成金等の外部資金獲得に努めてきた結果、年々増加してきました。

### 第48期決算報告書(2018年度)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

#### 資金収支計算書

単位:円

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	4,604,988,310	人件費支出	8,612,527,901
手数料収入	50,696,570	教育研究経費支出	6,012,734,493
寄付金収入	6,975,000	教育研究経費支出	2,302,902,222
補助金収入	800,269,333	医療経費支出	3,709,832,271
資産売却収入	18,963,909,831	管理経費支出	605,645,258
付随事業・収益事業収入	127,047,427	施設関係支出	1,667,963,356
医療収入	9,455,677,871	設備関係支出	325,829,535
受取利息・配当金収入	5,174,215,493	資産運用支出	25,464,111,170
雑収入	273,531,777	その他の支出	14,664,560,412
前受金収入	685,936,540	資金支出調整勘定	△ 1,174,880,046
その他の収入	17,969,852,914	翌年度繰越支払資金	4,644,923,044
資金収入調整勘定	△ 2,315,743,499		
前年度繰越支払資金	5,026,057,556		
<b>収入の部合計</b>	<b>60,823,415,123</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>60,823,415,123</b>

#### 事業活動収支計算書

単位:円

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	4,604,988,310	人件費	8,604,204,019
手数料	50,696,570	教育研究経費	7,024,012,562
寄付金	15,471,765	教育研究経費	3,206,497,063
経常費等補助金	791,707,333	医療経費	3,817,515,499
付随事業収入	70,408,908	管理経費	621,987,174
医療収入	9,455,677,871	徴収不能額等	11,816,462
雑収入	273,531,777		
<b>教育活動収入計</b>	<b>15,262,482,534</b>	<b>教育活動支出計</b>	<b>16,262,020,217</b>
		<b>教育活動収支差額</b>	<b>△ 999,537,683</b>
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
受取利息・配当金	5,174,215,493	借入金等利息	0
その他の教育活動外収入	56,638,519	その他の教育活動外支出	0
<b>教育活動外収入計</b>	<b>5,230,854,012</b>	<b>教育活動外支出計</b>	<b>0</b>
		<b>教育活動外収支差額</b>	<b>5,230,854,012</b>
<b>経常収支差額</b>			<b>4,231,316,329</b>
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
資産売却差額	1,316,436,556	資産処分差額	1,108,922,601
その他の特別収入	13,630,428	その他の特別支出	0
<b>特別収入計</b>	<b>1,330,066,984</b>	<b>特別支出計</b>	<b>1,108,922,601</b>
		<b>特別収支差額</b>	<b>221,144,383</b>
基本金組入前当年度収支差額			4,452,460,712
基本金組入額合計			△ 3,178,730,076
当年度収支差額			1,273,730,636
前年度繰越収支差額			△ 8,555,547,521
翌年度繰越収支差額			△ 7,281,816,885

#### 貸借対照表

2019年3月31日 単位:円

資産の部		負債の部	
固定資産	165,606,740,438	固定負債	4,146,644,691
有形固定資産	27,195,409,610	流動負債	2,050,501,104
土地	12,268,773,459		
建物	9,827,026,079	<b>負債の部合計</b>	<b>6,197,145,795</b>
教育研究用機器備品	1,336,472,858		
図書	3,216,734,884	<b>純資産の部</b>	<b>173,236,121,005</b>
その他有形固定資産	546,402,330	第1号基本金	46,924,621,005
特定資産	129,252,484,641	第2号基本金	15,000,000,000
第2号基本金引当特定資産	15,000,000,000	第3号基本金	110,107,500,000
第3号基本金引当特定資産	110,107,500,000	第4号基本金	1,204,000,000
退職給与引当特定資産	4,144,984,641	繰越収支差額	△ 7,281,816,885
その他の固定資産	9,158,846,187	翌年度繰越収支差額	△ 7,281,816,885
流動資産	6,544,709,477	<b>純資産の部合計</b>	<b>165,954,304,120</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>172,151,449,915</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>172,151,449,915</b>

※詳細は、本学webサイト([http://www.asahi-u.ac.jp/inf/f\\_jigyoku.html](http://www.asahi-u.ac.jp/inf/f_jigyoku.html))をご覧ください。